

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道196号 <small>いまばりどうろ</small> 今治道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局																																						
起終点	自：愛媛県今治市矢田 至：愛媛県今治市長沢	延長	10.3km																																								
事業概要	<p>国道196号は、松山市を起点とし、今治市を経て、西条市小松町に至る全長約70kmの幹線道路であるとともに、通勤等日常生活を支える生活道路としての役割をもつ重要な路線である。</p> <p>今治道路（今治IC～今治湯ノ浦IC：延長10.3km）は、高規格幹線道路網を構成する一般国道の自動車専用道路である「今治小松自動車道」の一部であり、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）及び四国縦貫自動車道（松山自動車道等）と一体となり、産業・文化などの分野における地域間の交流を促し、地域の活性化を図ることを目的として計画された高規格幹線道路である。</p>																																										
H13年度事業化	H3年度都市計画決定 (H-年度変更)	H15年度用地着手	H24年度工事着手																																								
全体事業費	706億円	事業進捗率	約25%	供用済延長	0.0km																																						
計画交通量	12,000～12,500台/日																																										
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.04</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.04		(残事業)	1.7	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総費用</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/</td> <td style="width: 10%;">(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">358/568億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">339/549億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">19/19億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/	(事業全体)			358/568億円	事業費		339/549億円	維持管理費		19/19億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総便益</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/</td> <td style="width: 10%;">(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">593/593億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td></td> <td style="text-align: center;">495/495億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td></td> <td style="text-align: center;">65/65億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td></td> <td style="text-align: center;">33/33億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/	(事業全体)			593/593億円	走行時間短縮便益		495/495億円	走行経費減少便益		65/65億円	交通事故減少便益		33/33億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準年</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/</td> <td style="width: 10%;">(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">平成25年</td> </tr> </table>	基準年	(残事業)/	(事業全体)			平成25年
B/C	(事業全体)	1.04																																									
	(残事業)	1.7																																									
総費用	(残事業)/	(事業全体)																																									
		358/568億円																																									
事業費		339/549億円																																									
維持管理費		19/19億円																																									
総便益	(残事業)/	(事業全体)																																									
		593/593億円																																									
走行時間短縮便益		495/495億円																																									
走行経費減少便益		65/65億円																																									
交通事故減少便益		33/33億円																																									
基準年	(残事業)/	(事業全体)																																									
		平成25年																																									
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C= 1.04～1.1（交通量 ±10%）【残事業】交通量：B/C= 1.6～1.8（交通量 ±10%）</p> <p>事業費：B/C= 0.98～1.1（事業費 ±10%）事業費：B/C= 1.5～1.8（事業費 ±10%）</p> <p>事業期間：B/C= 0.9～1.1（事業期間±20%）事業期間：B/C= 1.4～1.9（事業期間±20%）</p>																																										
事業の効果等	<p>流通の利便性の向上による産業の振興や、走行性が高い高速道路を利用することで緊急施設へのアクセス性が向上するなど、多様な整備効果が期待できる。</p> <p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・今治市から松山空港（第二種空港）へのアクセス向上により広域交流を支援 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居浜市（臨海工業地）へのアクセス向上により広域交流を支援 ・愛媛県の農水産品の大都市への流通利便性が向上 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国と本州を連絡する高規格幹線道路の一部を構成し、高速道路のミッシングの解消 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治ICに隣接する今治新都市開発整備事業に進出した企業が、四国内外の出荷に活用できるなど地域開発を支援 ・本州方面から今治市、四国全域への新たな観光客の訪問に繋がり観光産業に寄与 <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設（愛媛大学附属病院）へのアクセス向上 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路による第一次緊急輸送道路ネットワークが形成され、しまなみ海道から山陽道の高速ネットワークを迂回ルートとして活用可能 ・南海トラフ巨大地震など災害時における広域高速ネットワークの安全性・信頼性の確保 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX、SPM排出量の削減が見込まれる <p>⑨その他</p>																																										

・近隣市からの救急搬送を支援（西条市から今治市への救急搬送時間の短縮）

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：
・今治小松自動車道建設促進期成同盟会から、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

愛媛県知事の意見：

・今治道路の再評価に係る「対応方針(原案)」案については異議ありません。
今治道路は、しまなみ海道と四国8の字ネットワークを結び、今治小松自動車道のミッシングリンクを解消する重要な道路であり、早期の供用に向けた整備の促進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成13年7月 今治小松自動車道(今治湯ノ浦IC～東予丹原IC)L=9.0km 開通
- ・平成18年4月 西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)大島道路(大島北IC～大島南IC・L=6.3km)及び生口島道路(生口島北IC～生口島南IC・L=6.5km)の暫定2車線開通により瀬戸内しまなみ海道全線開通
- ・平成21年3月 県道今治丹原線 開通
- (その他)
- ・平成17年3月 大型電気店開店
- ・平成18年9月 今治新都市第1地区分譲受付開始
- ・平成18年10月 今治新都市第2地区分譲受付開始
- ・平成18年11月 大型商業施設開店
- ・平成18年12月 大型商業施設開店

事業の進捗状況、残事業の内容等

・平成25年5月末で用地進捗率約67%、平成25年3月末で事業進捗率約25%。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・平成24年度より工事着手し全面展開中であり、平成25年度より朝倉トンネルの工事にも着手。
- ・今治IC～今治朝倉IC(仮称)区間は、平成25年度より用地買収に着手。

施設の構造や工法の変更等

・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理費を考慮した構造等の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

・以上の事業効果等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。